

# 「調査書」記載要領

下関国際高等学校

- 1 「第一志願」、「第二志願」、「第三志願」の欄には、志願する学科・コースを記入する。その際、推薦入試の内、学校推薦と特別推薦は第一志願のみ記入し、自己推薦は第二志願まで記入する。一般入試の内、一次募集の場合は、第二志願まで記入し、二次募集の場合は、第三志願まで記入する。  
一般入試（二次）の出願時には公立併願者の入学手続きが終了していないため、募集学科・コースの空き定員が定まらないので第一志願から第三志願で選考する。
- 2 \*の「受験番号」の欄は、記入しない。
- 3 推薦入試（学校・特別・自己）に出願する者は、欄外左右上隅のそれぞれの志願の部分を赤色で塗りつぶす。一般入試（一次）に出願する場合は塗らない。
- 4 卒業年月の欄の過年度卒業者は卒業を選択する。
- 5 「学習の記録」の欄
  - (1) 「観点別学習状況」の「評価」の欄は、全学年について、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）の「記入上の注意」の基準によるA、Cのみを記号により記入する。Bは記入しない。なお、第3学年については、第1、2学期の成績の総合として記入する。また、第1・2学年については、旧学習指導要領による四ないし五観点の評価を記入、第3学年については、新学習指導要領による三観点（太枠）の評価を記入する。
  - (2) 「評定」の「1年」、「2年」の欄は、指導要録から転記する。
  - (3) 「評定」の「3年」の欄は、第3学年の第1、2学期の成績をもとに5段階評定で記入する。
  - (4) 「5教科の評定合計（a）」の欄は、学年ごとに、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の各評定を合計したものを記入する。
  - (5) 「4教科の評定合計（b）」の欄は、学年ごとに、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の各評定を合計したものを記入する。
  - (6) 「9教科の評定合計（（a）＋（b））」の欄は、学年ごとに「5教科の評定合計（a）」と「4教科の評定合計（b）」を合計したものを記入する。
  - (7) 「9教科の評定合計の3か年の合計」の欄は、各学年の9教科の評定合計を合計したものを記入する。

(8) 「総合的な学習の時間の記録」の欄は、この時間に行った学習活動について、その内容や状況等を簡潔に、枠内に収まる範囲で記入する。

(9) 過年度卒業者については、3年の欄は、指導要録から転記する。その他は卒業見込み生徒に準じて記入し、記載不能の場合は右上から左下にかけて斜線を引く。

6 「行動の記録」の欄は、第3学年における第1、2学期の行動の記録について、項目ごとに、指導要録の「記入上の注意」に準じて、○印を記入するか又は空欄とする。

7 「出欠の記録」の3年の欄は、第2学期末までのものを記入する。各学年の欠席日数、遅刻・早退回数が10回以上ある場合は、必ずその理由を記入する。なお、理由の欄に記入できない場合は「総合所見及び参考となる諸事項」の欄に記入する。

また、「出席停止・忌引等」の欄、及び理由については公立に準じ記載しない。

8 「総合所見及び参考となる諸事項」の欄は、各教科の学習や行動面について総合的にみた場合の生徒の特徴や指導上特に留意した事項を記入する。

3か年の特別な活動における生徒の活動状況について、主な事実及び総合的にみた場合の所見を記入する。資格検定等を取得している場合は、その名称を記入する。

その他、次の事柄があれば記入する。

(1) 帰国子女等については、帰国前の国名、在住期間（例：平成○年○月～平成○年○月）、帰国後の編入学年、日本語の理解度等、選抜に必要と思われる事項を記入する。

(2) 疾病等の状況について、特に必要であると思われる事項があれば記入する。

(3) その他、特筆すべき事項があれば記入する。

9 「5教科の3年間の評定平均値」の欄は、「5教科(国語、社会、数学、理科、英語)の3か年の評定の合計」を15でわり算をし、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までで示す。

10 記載事項の無い場合は、当該欄に右上から左下にかけて斜線を引く。

11 調査書のデータはホームページに載せる。記入方法は、パソコンでも手書きでもかまわない。